

各 位

2019年10月9日
SBIホールディングス株式会社
photonamic GmbH & Co. KG

フォトナミック社によるオランダ企業・フォトニクスヘルスケア社買収のお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北尾 吉孝）の子会社で、5-アミノレブリン酸（ALA）（※1）を利用した医薬品開発事業を手掛けるドイツの photonamic GmbH & Co. KG（本社：ドイツ・ピンネベルク、代表：Ulrich Kosciessa, Ph.D. 以下「フォトナミック社」）は、細胞内の酸素濃度を測定する機器開発を手掛ける Photonics Healthcare B.V.（本社：オランダ・ユトレヒト、CEO: Michael Munker, 以下「フォトニクスヘルスケア社」）の株式を取得し、同社を子会社化したことのお知らせいたします。

フォトニクスヘルスケア社は細胞内における酸素濃度を測定する技術を保有しており、同社が開発した医療機器 COMET は CE マーク（※2）を取得しております。COMET は細胞内における酸素濃度の測定に ALA を用いることから、従来フォトナミック社とフォトニクスヘルスケア社は提携関係にありましたが、更なる臨床開発のスピードの促進および両社のシナジー効果を鑑み、今般子会社化することになりました。

フォトナミック社が開発する Alacare（日光角化症治療薬）を患者に貼付し、細胞内に ALA を含有させることで、ミトコンドリアは酸素と ALA を利用し、プロトポルフィリン IX（以下「PP IX」）を生成します。COMET による短波長光を当てることで PP IX は発光する性質を有しており、この発光時間が細胞内の酸素濃度によって異なるという特徴を用いることで酸素濃度の測定を行います。この測定方法により世界で初めての非侵襲の測定が可能となりました。既に複数の病院にて 20 を超える治験を通じて酸素濃度測定をテストしております。

フォトナミック社およびフォトニクスヘルスケア社は、従来の血圧や血流をコントロールする間接的な手法に比べ、この手法は治療に従事する医師たちが切望していた治療法であり、今後極めて有効な治療方針を立てることが可能になることを期待しています。

SBI グループではアンメットメディカルニーズに応える ALA を利用した医薬品を世界中の一人でも多くの方に提供できるよう、今後も ALA の様々な可能性を追求し、医薬品等の研究開発に努めてまいります。



(※1) 5-アミノレブリン酸 (ALA) とは：体内のミトコンドリアで作られるアミノ酸。ヘムやシトクロムと呼ばれるエネルギー生産に関与する機能分子の原料となる重要な物質ですが、加齢に伴い生産性が低下することが知られています。ALA は、焼酎粕や赤ワイン、高麗人参等の食品にも含まれるほか、植物の葉緑体原料としても知られています。

(※2) CE マークとは：商品がすべての EU (欧州連合) 加盟国の基準を満たすものに付けられる基準適合マークを指しており、一定の品質水準を有していることを示しています。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：
SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126